今日は6月30日

いつものように、火曜の朝を迎えた。レポートに何を書こうかと考えていると、二つのことが思い浮かんだ。

まずは今日で2015年という年も半分が過ぎ、明日から「後半戦」ということになる。早いものだ。退職して1年3ヶ月が過ぎたが、単調ながら、それなりに充実した生活を送っている。こうして4時には起きてレポートを書き、原稿を送って「レポート集」にアップしてもらっている。

毎朝、本山から歩いて名大図書館に向かうことが多い。本や資料を読み、原稿を書いている。昼は早めに生協食堂で「和風ランチ」などを食べる。朝8時から16時頃まで8時間近く図書館で過ごす。こんな生活のなかで重宝しているのが、退職記念？に購入した大きな画面のiPadである。最近はキーボードをつないで原稿を書いている。私のような「学外者」らしき人をよく見かける。「準個室」のような場所も利用でき、本当にありがたい。しばらくすると「試験対応期間」ということで、4週間余りも利用できなくなる。また「放浪の旅」をしなくてはならない。

6月30日で忘れられないのが、昨年のこの日、朝早くに亡くなった同僚の石川洋明さんのことだ。写真は昨年2月21日の私の最終講義の時のものだ。寒いなか車椅子で来てくれ、熱心にメモを取っていた。終わってから卒業生に囲まれ、いつになくご満悦の様子だ。

石川さんについては、この「レポート集」に10回載せている。4年ぶりにレポートを再開したのも、彼の「死」がきっかけであった。毎朝レポートを書くことで、単調になりがちな生活にリズムがついており、彼に感謝したい。

昨年は「マイブック」という日記を珍しく書き続けた。今年はレポートに集中して？断念しているが。

昨年6月30日に書いた一部を短く「再現」したい。

悲しい知らせが夜に届いた。石川さんが今朝亡くなったという。土曜の研究会で石川さんが入院したことを聞き、今日明日にでも見舞いに行くつもりが、こんなに早く亡くなるとは。吉田さんと電話で話していて、涙が止まらなかった。それにしても「夏まで----」が本当になってしまった。もう夏ではあるが。

(2015年6月30日）